

司書が支える「読書まちづくり推進事業」

読書活動は全ての学習の基盤である言語能力を育むが、全国的に読書活動を取り巻く環境は厳しい状況にあり、本離れや活字離れが進行している。

当委員会としては、読書離れという課題に対する町の取組内容を重要視している。

そこで、日ごろから子どもたちの読書を支え、将来にわたって豊かな学びと心を育むためにさまざまな読書環境づくりに取り組まれている社会教育課図書館系の活動を追った。



文部科学省から指定(採択)を受けた本町

司書が支える取組事業の一つ「各小中学校との連携」を取材

7月5日(土)、うみ・みらい館 多目的ホールで小学生読書リーダー養成講座・中学生読書サポーター養成講座合同開講式が開催された。

司書の皆さんは「定期的に本の配置を変えるなどしています」と、常に利用者の興味を喚起する努力を惜しまない。

この日行われたのは、本の魅力を伝えるPOPの作成講座。参加した子どもたちからは「本の面白さをほかの人にも知ってほしい」などの声が聞かれた。

読書の魅力を伝える力を身に付けようと励む児童・生徒の姿勢は、とても頼もしく感じた。



熱意に満ち溢れた学校司書・図書館司書の皆さん



真剣に取り組む子どもたち



どんなPOPを作ろうかな!



さらなる環境づくりに期待!

町は、文部科学省が実施する「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」へ応募したところ高評価を受け、九州から唯一、本町が採択された。今後さらに、学校司書・図書館司書が中心となって行う読書活動を通じた地域コミュニティ活性化の発展に期待したい。

防災リーダー育成につながる議会防災訓練を実施

当委員会は昨年11月に「防災リーダーの育成(自主防災組織)」をテーマに愛媛県松山市の視察・研究を行った。また、本年2月に粕屋南部消防署で「宇美町における地域防災リーダー育成などの地域防災力向上について」をテーマに粕屋南部消防署、町、議会の三者で意見を交換した。

その後、毎年実施している議会防災訓練を6月16日(月)の6月定例会終了後に行った。全議員で粕屋南部消防署職員と町(地域コミュニティ課)防災アドバイザーの協力のもと、防災に関する知識や技術向上を目的とした訓練を行うことで、全議員の防災スキルを向上させた。

訓練では、応急手当、心肺蘇生、AEDの取扱いの救急講習終了後に、胸骨圧迫とAEDを使用しての実技指導や、徒手搬送、応急担架の作成・搬送などの負傷者搬送訓練の実演講習を受けた。



お世話になった粕屋南部消防署職員の皆さん



応急担架で、負傷者を搬送



身近なAEDの設置場所をご確認ください(役場では総合案内横)



①人を集める ②119番通報 ③AEDを持ってこよう指示



胸骨圧迫は腕を伸ばして1分間に100~120回



地域の皆さんへ発信!

防災リーダー育成のため、防災士の資格を取得した議員(現在8名取得)が中心となって、議会として今後も各地域住民に防災に関する情報を発信していきたい。